

生活介護事業所第2みらい
令和3年度事業報告

【概況】

今年度も新型コロナウイルス感染症に大きく影響された1年となりました。5月には利用者4名及び職員1名に新型コロナウイルスの感染が確認され、5月19日から6月1日にかけて事業所を休所いたしました。また、罹患された利用者のうち後遺症により1名が長期入院（1月末に退院）、1名がホーム療養（1月中旬より利用再開）となりました。ワクチン接種については、1・2回目を7月～8月に、3回目を2月～3月に協力医療機関などで実施いたしました。

利用者を取り巻く環境の変化も年々大きくなってきており、ご家族の高齢化に伴い同居が困難になった方が施設入所を利用されたり、GHを利用されたりと生活の場が変わる方も増えてきています。更に、同居されていてもご家族によるご本人へ支援が難しくなってきたご家庭も増えてきており、そのことに対する支援も徐々に増えてきました。

1. 利用状況について、7月に退所1名、10月に入所1名、2月に退所1名で、在籍者は42名となりました。出席率/在籍者は80.6%と前年度より4.2%減少し、1日の平均利用者数は34.4名でした。出席率の低下については、上述のとおり新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、休日にヘルパー利用ができなかったGH利用者を第2みらいで支援したことによることが大きな要因です。全体開所日の出席率/定員は94.1%でした。支援費収入は当初予算の95.9%で前年度より3%減少しています。

2. 支援については、上述の通りご家族支援を含め、支援内容が多様化するなか、それぞれの事業の役割りのもと、しっかりと連携し、ご本人の生活を支えていく必要が増してきました。事業所内においても、会議等で利用者の状況や支援内容の共有化を進め、支援の般化に努めました。また、ご家族やGHなどの協力のもと、体調の把握をしっかりと行い、新型コロナウイルスの感染予防に努めました。

グループホームを利用されている方は21名、施設入所を利用されている方が1名、平均障害支援区分は5.33と前年度とほぼ同じでした。

3. 生産活動については、コロナ禍で自主製品の販売機会が減少しており、売り上げが減少しました。半面、空き缶の単価が前年度より更に上がり、売り上げが増加しました。内職は変わりなく安定して受注することができました。結果、工賃の支払い実績は、一人当たりの平均工賃月額が1,826円と、前年度と比較し359円の増加となりました。

4. 職員研修については、外部研修のオンライン化が進み、参加しやすくなったこともあり、積極的に参加を致しました。また、人手不足で外部研修に参加することが難しくなる中、少しでも学びの機会を確保できるよう、動画研修を試験的に導入しました。

1. 利用者状況（令和4年3月31日現在）

(1)在籍状況 男性 30人 女性 12人 合計 42人
 (平均年齢) 男性 43.93歳 女性 48.25歳 全体 45.14歳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
女性	13	13	13	13	12	12	13	13	13	13	13	12	153
合計	43	43	43	43	42	42	43	43	43	43	43	42	513

*利用者の異動

【入所】

10月…女性1名

【退所】

7月…女性1名 2月…女性1名

(2)利用状況

【利用率】全体開所日（248日） / 定員…94.01%

全体開所日（248日） / 在籍者…88.15%

休日開所含む（271日） / 定員…86.03%

休日開所含む（271日） / 在籍者…80.64%

(3)障害状況

①療育手帳

②身体障害者手帳（重複）

	男性	女性	合計
A	30	12	42
B1	0	0	0
B2	0	0	0
合計	30	12	42

	男性	女性	合計	部位
1級	1	0	1	肢体、内部
2級	1	1	2	肢体、平衡機能
3級	2	0	2	内部、言語等
4級	4	4	8	言語・そしゃく
合計	8	5	13	

③障害支援区分(平均障害支援区分 5.33)

区分	男性	女性	合計
3	0	0	0
4	3	1	4
5	17	3	20
6	10	8	18
合計	30	12	42

2. 日課・週間プログラム

【日課】

午前		午後	
9:00～10:00	登所(時差)	13:30～14:30	作業
10:00～10:30	朝礼体操等	14:30～15:30	休憩
10:30～12:00	作業	15:30～	降所(時差)
12:00～13:30	昼食・休憩		

*グループや個人により時間に違いがあります。

【週間プログラム】一例（個人により作業時間等プログラムは異なる）

	月	火	水	木	金	土・日
午前	屋外活動	作業	公園清掃	ウォーキング	作業 織り	余暇支援 休み
午後	作業 機能訓練	ウォーキング	ウォーキング	口腔ケア 作業	華道	余暇支援 休み

3. 職員体制等

(1) 職員体制

常勤職員： 管理者・サービス管理責任者(兼務1)
主任(1)・生活支援員(7)

非常勤職員： 支援員補助(8) 運転手(4) 医師(1)
看護師(1) 事務職員(1)

業者委託： 送迎運転手(1) 送迎添乗員(2) 調理師(1) 調理員(2)
(配置基準) 管理者1名、サービス管理責任者1名
生活支援員15.0名（人員配置体制加算Ⅲ）

(加算申請) 福祉専門職員等配置加算Ⅲ、食事提供体制加算
送迎加算（重度加算含む）

4. 建物・設備維持管理

【定期点検】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空調設備			7						6			
害虫駆除	8		10		12		14		9		10	
E V	30			14			15			11		
自動扉	12			13			5			21		
消防設備			25						16			
電気設備		17		16		15		15		17		16
定期清掃					28						27	

*表中の数字は、実施日

【その他】

(改修等)

- 5月7日 フライヤー修繕 (厨房)
- 6月3日 給湯器修繕 (3F 脱衣場)
- 6月7日 食洗器修繕 (厨房)
- 6月8日 ウォシュレット修繕 (3F 女子トイレ)
- 7月27日 トイレレバーハンドル修繕 (3F 多目的用)
- 8月28日 ボールタップ交換 (貯水槽)
- 9月1日 冷蔵庫修繕 (厨房)
- 9月10日 エアコン修繕 (1F 系統)
- 9月13日 雨漏り外装修繕 (3F 男子更衣室)
- 10月14日 雨漏り内装修繕 (3F 男子更衣室)

※ 設備管理業者：株式会社アチーブ総合設備

5. 車両・送迎管理

バス・キャラバン3台・ステップワゴン・ハイゼットの6台で送迎等を運行。老朽化に伴いキャラバン1台をリース車両に入れ替え(9月)、事業所所有の車両はステップワゴンとハイゼットの2台となり、車両管理の負担軽減となった。

送迎については、利用者の環境変化に応じ、その都度、柔軟に送迎コースの変更を行い対応。

【車両管理等】

	ステップ	ハイゼット
6ヶ月点検	3年8月	3年7月
12ヶ月点検	4年2月	4年1月
車検	5年2月予定	4年7月予定

※ 上記とは別にバス及びキャラバン3台をリース車両として保有。定期的に点検を実施。

【修繕等】

- 7月 23日 キャラバン：スターターモーター故障
 8月 6日 キャラバン：スロットル チャンバー故障

【車両事故】

6月3日：第2みらい駐車場出庫時、建物に右後部接触。

3月9日：猪名川公園駐車場入庫時、石段に後部接触。

※ 上記2件は、いずれも運転手の不注意によるもので、運転手に対し嚴重注意を行うとともに、事故報告書にて他の職員に対し注意喚起を行った。

【送迎管理】

(1)通常送迎

マイクロバス（29人乗り）：市内循環（豊中全域）・朝夕各1便

* (株)ジャパン・リリーフへ車両管理請負業務として委託

キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部・伊丹）朝夕各1便

青キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中北部）朝2便、夕1便

赤キャラバン（10人乗り）：市内循環（豊中中部・伊丹）朝2便、夕1便

ステップ（8人乗り）：市内循環（豊中中部）朝2便、夕3便

ハイゼット（4人乗り）：旭丘便 朝夕1便

* 添乗業務は車内の状態把握及び利用者対応のため支援員が実施。

* 行事の際には特別ルート及び時刻表に基づき運行。その他、諸事情による乗降場所の変更などにも柔軟に対応。

(2)別便送迎

特別送迎延べ利用回数 75回（前年度比+34%）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特別送迎	7	2	7	2	5	8	11	3	9	6	3	12
ショート等	95	48	93	115	136	92	96	66	46	48	43	55
合計	102	50	100	117	141	100	107	69	55	54	46	67

特別送迎の利用回数は、前年度より 34%増加。歯科通院での利用が大半を占めているが、その他の通院での利用も徐々に増えてきている。ショートステイ送迎（通常送迎）については、22%増加（762回→933回、月平均 77.7回）。長期でショートステイを利用のされた方が 2名おられたことが要因（4月～10月、6月～7月）。

6. 年行事等

月/日	行 事 名	行先・場所	特記事項等
12/16	クリスマス会	第 2 みらい	各グループで実施

その他、グループごとに給料日の取り組み（買い物など）などの活動を実施。

今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、第 2 みらいフェスティバルや外食を伴う行事を中止。各グループで調理実習やミニゲーム、テイクアウトの食事など事業所内での取り組みを行った。クリスマス会についても、全員で集まることはせず、各グループでの取り組みとして実施。

7. 余暇活動等

(1) 開催内容

金曜活動

- ・茶 道 : 月 2 回 (講師) 橋本喜久子
- ・華 道 : 月 2 回 (講師) 高橋美智代

その他の活動

- ・音楽療法 : 月 1 回 (講師) 佐藤信子
- ・ダンス : 毎週月曜日 (講師) 辻村恵美子
- ・リズム体操 : 月 2 回 (講師) 辻村恵美子

音楽療法、ダンス、リズム体操については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も実施を見送った。辻村氏には、隔週月曜日に機能回復訓練を実施していただいた。

(2) 障害者青年教室

豊中市教育委員会の補助制度を活用（1回につき 3 千円の助成）。趣旨は生涯学習の視点から障害のある青年が常に生きる喜びを持ち、社会的教養の向上と自主性・社会性の養成を図ること。

- ・陶 芸 : 休止中

新型コロナウイルス感染拡大に伴い講師が退任され、代替の講師が見つからないことから実施することが出来なかった。その為、下半期より茶道・華道を青年教室として実施した。

8. 健康管理・給食

【健康管理】

- ・健康相談：1月に嘱託医の宮澤 Dr が退任。2月より野崎クリニック（新千里南町）の野崎 Dr が着任。1年間の予定であるため、後任探しが課題となっている。健康相談日については、1月までは第2・4水曜日の月2回であったが、2月からは第3月曜日の月1回の実施となった。実施内容については、健康状態の確認やご家族からの相談、健康診断の所見などをいただいた。相談を受けた内容は連絡帳を通して、ご家族に報告。
- ・健康診断：清光クリニックに訪問健診を委託し、7月に第2みらいで実施。利用者36名が受診。課題であった胸部レントゲン検査については、第2みらいで実施することができた。
- ・予防接種：インフルエンザ
11月に35名が接種（インフルエンザ）。協力医療機関である宮澤診療所にて実施。

新型コロナウイルスワクチン

1・2回目…7月～8月に宮澤診療所（15名）と市集団接種（9名）にて実施。

3回目…2月～3月に宮澤診療所にて27名が接種。

- ・訪問歯科診療：委託業者（すまいる）
歯科医師1名、歯科衛生士4名
毎週木曜 PM（月4回上限）
受診者数：27名

【給食】

- ・委託業者：ナフス(株)
- ・給食会議：月1回、委託業者・管理栄養士・法人職員が参加し、検食簿に基づく意見の交換や季節感のある食事の提供に努めた。新型コロナウイルス感染予防のため会議は不定期的に開催し、会議が開催できない時は電話での調整を行った。
- ・嗜好調査：年2回実施(10月、3月)
調査結果を給食の献立や肥満対策に反映するように努めた。

9. 防災

	月	内 容	参加人数	備 考
1	2月	教養型防災訓練	16人	職員のみ
2	3月	教養型防災訓練	16人	職員のみ

今年度も避難訓練を行うことで密集することを避けるため、昨年度より取り入れた教養型訓練を実施。事業所内の消火設備の配置や消火設備の使い方の再確認を行った。次年度は洪水対応についての訓練を加える予定。また、実施時期が偏っていることから、計画的に実施できるよう取り組んでいく。

10. 活動支援の取組み

第2みらいの運営方針、支援方針に基づき令和3年度の支援を次の通り行った。

- ①個別支援計画を基に日常生活上必要な介護、支援、相談、助言等を行った。
スケジュールについては自己選択の機会として面談時に調整し、その上で活動内容を実施した。
- ②障害特性、ニーズに基づいた小グループ化を図り、より個々に適したプログラムを提供できるように環境整備に取り組んだ。そのことにより情緒面の安定に繋がったと考えている。しかし、職員の不足により、20名程度の大きなグループを1つ設け、サービスの提供を行った。
- ③機能訓練については、新たな作業療法士を確保できなかったことから実施できていなかったが、リズム体操の講師による機能回復訓練を実施することができるようになった。

(1) 作業支援

利用者のエンパワメントを高める観点から、引き続き様々な作業を行った。軽作業については、1年間安定して仕事を受注することができた。自主製品については、コロナ禍で販売機会が減少し売り上げが減少。また、前年度に引き続き、製作することのできるスタッフが限られていることや、利用者の作業化について引き続き課題となっている。

・軽作業

「ヒノモト商会」部品の袋詰め等

「ワーキングサービス」緩衝材の袋詰め

「豊中市障害福祉課」刻印作業

売り上げ…約 23 万円（前年度比－3 万円）

・屋外作業

アルミ缶回収、洗車

売り上げ…約 52 万円（前年度比＋19 万円）

・自主製品

アクセサリー、雑巾他

売り上げ…約 24 万円（前年度比－10 万円）

全体

【作業収入】 約 99 万(前年度比＋6 万円)

(内訳：軽作業 23%、屋外作業 53%、自主製品 24%)

(2) 生活支援

グループホームを利用されている方は昨年度と同様 21 名で、第 2 みらい利用者の半数以上を占めている。また、施設入所を利用されている方もおられ、ホームやそれ以外の事業との連携の重要性は更に増している。また、ご家族の高齢化に伴い、今までご家庭で出来ていたことが難しくなり、第 2 みらいで行うことも増えてきている（入浴や薬の管理など）。後見人の申請についても必要な方が出てきており、関係各所が連携して支援を行った。

・日中一時支援

延べ利用者数…7 名（前年度比±0 名）

延べ利用時間…7.5 時間（前年度比＋1 時間）

ご家族の都合等で所定の時間に送迎することが困難な場合に、時間を延長し支援を行った。緊急時は外食、特別送迎等の提供で出来る範囲で家族支援を実施。

・入浴サービス

上述のとおり、1 名の利用者へ毎日サービスを提供した。

11. 広報・地域活動・実習

(1) 広報関係

【広報誌の発行】

法人の広報誌として「みらいの WA」を年 3 回、ご家族はもとより、関係機関や関係者に配布し、広く啓発活動に努めた。

	号	発行日	部数
1	第 4 号	4/20	490
2	第 5 号	9/20	700
3	第 6 号	1/20	700

(2) 昨年度同様、地域活動として自治会や近隣の福祉施設、障害者団体等との交流を図ってきたが、新型コロナウイルス感染防止に伴い、ほとんどの活動が中止となった。また、豊中市みどりの交流会活動の運営・企画については、感染状況により中止になることもあったが、積極的に参加（月 1 回定例他）し、園芸の育苗活動をともに行う中で各地域との連携を図った。

(3) 実習・ボランティア関係

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、実習やボランティア等の受け入れを中止した。

12. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決する窓口として苦情受付担当者を1名配置。苦情は意見箱をはじめ家族会の場や連絡帳等でも受け付けた。今年度の苦情は下記のとおり。その都度対応するとともに、家族会等での報告、職員への供覧などにより周知した。

また、第三者委員会については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間があったこともあり、今年度は1度しか開催することが出来なかった。

*第三者委員会：令和3年11月29日(月)16:00～

申立人	苦情内容要旨	対応
ご家族	居室やケース担当変更の理由を教えてください。昨年度もケース担当が変わっており、継続した支援をしてもらえるのか不安だ。	4/9(金)の担当者会議時のケース担当や居室について説明後、説明していた居室を変更させていただいた。それに伴い担当も変更させていただいていた。 事前に担当変更や居室移動について説明ができなかったことを謝罪し、継続した支援を行うことを説明した。そのことについては、一定のご理解を頂いた。

申立人	苦情内容要旨	対応
ご家族	<p>今週から担当職員やグループメンバーが変わったと他の人から聞いたが、どうなっているのか？具体的な説明が欲しい。</p>	<p>4/5 よりグループ再編に伴い、居室及びメンバーの変更を行った。ケース担当職員については、決まり次第お知らせをする予定であった。しかし、他のグループで既に新しい担当をお伝えしている方もあり、そのことがお母様のお耳に入り、連絡帳を通じて問い合わせをしてこられた。</p> <p>新しい担当や居室の変更について、事前にお伝え出来なかったことを謝罪。居室変更について説明を行うとともに、新しい担当もあわせてお伝えした。</p>
一般	<p>(申出人主訴) 送迎車が危険な運転をしており、危険な目に遭わされた。</p> <p>(事実確認) 送迎の運転をしていた職員及びドライブレコーダーで確認。先行する相手方(原付スクーター)が左折するために一旦停止したところ、追走していた当方(キャラバン)がスクーターの後ろで停止せず、スクーターの右側面で一旦停止したため、スクーターは右側の確認ができない状態となった。さらに、当方がスクーターの進路を覆いかぶさるようスクーターとほぼ同時に左折をしたことが確認できた。</p>	<p>管理者より謝罪の連絡を入れ、謝罪を受け入れていただけた。</p> <p>当該職員に対しては口頭で注意し、全職員に対し職員会議等で周知し安全運転を促した。今後は、安全運転講習等を通じて、更なる安全運転の意識づけを行っていく予定。</p>

13. 職員研修・会議等

【職員研修】

今年度はオンライン化が進み、徐々に外部研修が再開してきた。しかし、職員が不足する中、長時間の研修に参加することが難しい現状もあり、学びの機会を確保するため、時間の融通が利く動画研修を試験的に導入した。

※網掛け部は外部研修

月日	研修名等	主催	場所/会場	参加者
7/16	豊中市感染症対策研修	豊中市福祉部	オンライン	隅倉
7/30	第1回 法人全体研修	虐待防止委員会	第2 みらい	全職員
8/2	施設職員の心のケアを考える 講座（主任）	大阪福祉人材支援 センター	オンライン	田中
8/6	障害児者施設過程（主任）	大阪福祉人材支援 センター	オンライン	田中
9/17	相談支援従事者初任者研修 (2日課程)	大阪府社会福祉事業団	オンライン	富永
9/17	第2回 法人全体研修	高齢化対策部会	オンライン	全職員
10/1	オンラインレミタージュ	神奈川県自閉症協会	オンライン	隅倉
11/16	9つの重要なコミュニケーションスキルを教える研修	ライフサポート協会	オンライン	竹口
11/20	自閉症セミナー2021	はるにれの里	オンライン	高橋
12/8	中核的人材育成に関する モデル研修	全日本自閉症支援者 協会	オンライン	高橋
12/1	障がい者虐待防止・ 権利擁護研修	大阪府福祉部 障がい福祉室	オンライン	田中
12/4	発達障がい講座 STANDARD	発達障がい支援 センターおがる	オンライン	田中
12/11	5法人ジョイントセミナー	Lean On Me	オンライン	富永
12/17	第3回 法人全体研修	GH・住まいの在り方 部会	第2 みらい	全職員
1/19	事業所内研修	虐待防止委員会	第2 みらい	全職員
2/7	ファシリテーション研修 (基礎編)	大阪府社会福祉協議会	オンライン	田中
2/10	サビ管更新研修	ファイン財団	オンライン 社会福祉会館	田中
3月中	第4回 法人全体研修	権利擁護部会	動画視聴	全職員

【会議等】

会 議 名	回 数	開催期日、構成員等
職員会議	12	毎月第1木曜日（全職員） ※書面開催含む
ケース会議	12	毎月第3木曜日（全職員） ※書面開催含む
個別支援会議	12	毎月不定期（サビ管、担当職員）
フロア会議	12	毎月不定期（主任、フロア正職員）
給食会議	3	毎月第3月曜日（管理者、担当職員）

*その他

- ・虐待防止委員会 2回（管理者、サビ管、サビ責、事務局員）
- ・虐待防止委員会事務局会議 定例10回（事務局員）
- ・第三者委員会 1回（管理者、主任）
- ・運営会議（管理者、主任）
- ・所属長会議（管理者）
- ・家族会（管理者）
- ・市内施設長会議（管理者） ※外部
- ・日中事業者連絡会（管理者） ※外部